

肝炎患者のおかれた 状況について 考える 公開シンポジウム

肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究班では、肝炎対策基本指針において、肝炎患者等が不当な差別を受けることなく社会において安心して暮らせる環境づくりを目指すとしており、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。今回、一般市民、肝炎患者、医療従事者の方を対象として、肝炎患者の偏見や差別についてともに考える公開シンポジウムを下記のように開催いたします。関心のある方に参加いただきたく思います。

研究班代表 八橋 弘
(国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター長)

2018年 **8月19日**

13:00 ~ 15:00 (開場 12:30)

先着 200名

参加費 **無料**・申込み **不要**

*事前の申込みは不要ですが、座席に限りがあるため、先着 200名に限定させていただきます。

TKP 札幌カンファレンスセンター 6F
カンファレンスルーム 6A

※JR札幌駅南口より徒歩5分
『TKP札幌カンファレンスセンター』が会場となります。

●プログラム

■総司会 四柳 宏 (東京大学医科学研究所 教授)

13:00 ~ 13:05 開会挨拶 八橋 弘
13:05 ~ 13:20 研究班報告 八橋 弘
13:20 ~ 13:40 偏見や差別に関する相談事例の紹介 . . . 米澤 敦子 (東京肝臓友の会 事務局長)
13:40 ~ 14:00 休憩
14:00 ~ 14:55 パネルディスカッション

●司会 四柳 宏・中島 康之 (全国B型肝炎訴訟大阪弁護士団 弁護士)

●パネリスト 八橋 弘
米澤 敦子
梁井 朱美 (全国B型肝炎訴訟九州原告団)
及川 綾子 (薬害肝炎全国原告団)
浅井 文和 (元朝日新聞編集委員)

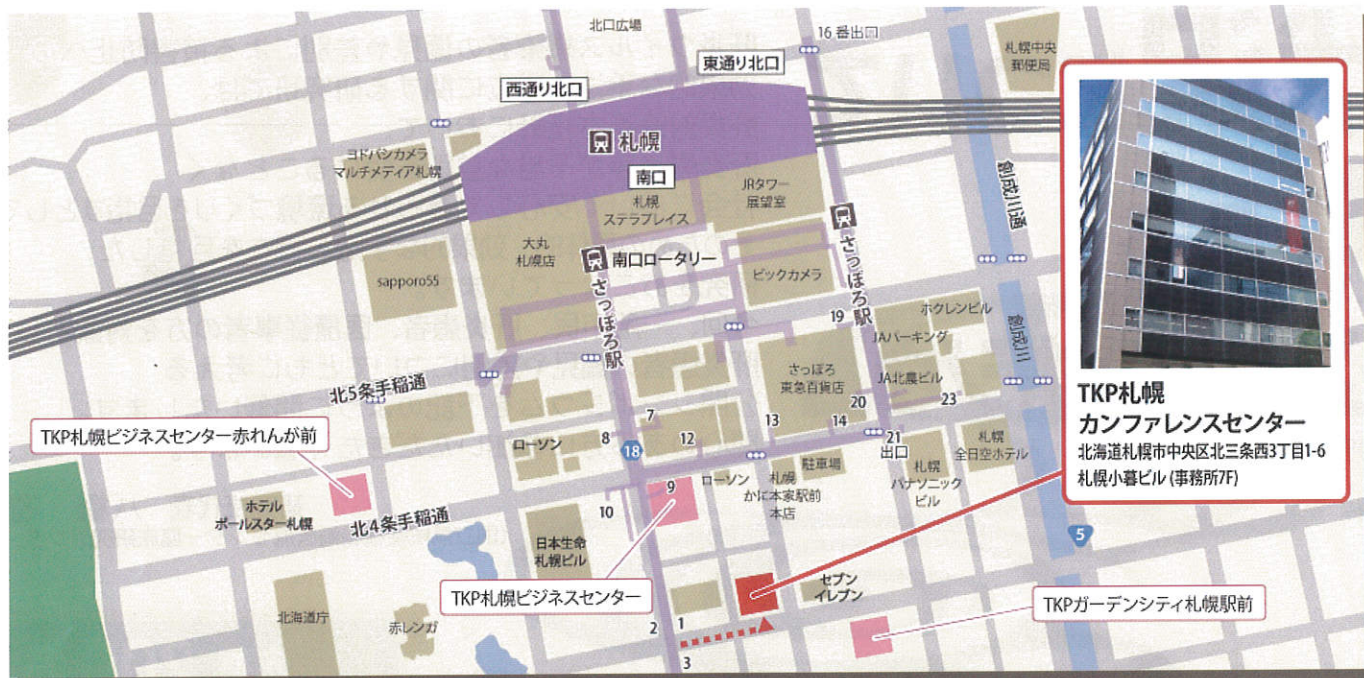
14:55 ~ 15:00 閉会挨拶 八橋 弘

(独) 国立病院機構 長崎医療センター 肝疾患相談支援センター

受付時間: 平日 (9:30 ~ 15:00)

TEL: 0957-52-3121 (代) 内線番号: 5096 担当: 松永

◆アクセス・地図



所在地

〒060-0003 札幌市中央区北3条西3丁目1-6
札幌小暮ビル 6F / 7F (事務所: 7F)
※美容室 (EARTH) の隣のビルでございます

アクセス

- 札幌市営南北線 さっぽろ駅 地下歩行空間 1番出口 徒歩 1分
- 札幌市営南北線 さっぽろ駅 9番出口 徒歩 4分
- JR 函館本線 札幌駅 南口 徒歩 5分
- JR 札幌駅南口より大通公園方面へ徒歩 5分【TKP 札幌カンファレンスセンター】となります。お間違いの無いようご注意ください。

※札幌駅周辺には類似した会場が複数ございますので、お気を付けください。

◆今後の開催予定

今回、札幌で開催する『肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム』は、今後、下記の都市でも開催致します。

日時・場所等の詳細については、追ってご案内致します。

大阪 10月7日(日)

東京 12月16日(日)